

## 5Sと医療安全について

### \* 全報告件数

11月29日(火)現在、開始からの全報告件数は565件です。今期(7期)だけでは473件でした。ご協力ありがとうございました。

### \* 今月の報告件数

今月11/1~11/30は72件、一時保存(当事者が書きかけの報告)は4件、所属長未承認は38件でした。下記参照

今月はLv3b以上のアクシデントに分類される報告はありませんでした。

今月の特徴として一時期減少していた下膳トレイに残薬が、という事例が増加傾向です。某病棟ではその対策として、患者さんにも医療安全に参加していただくこと、下膳車に「くすりは残っていませんか?」との表示を行う予定だそうです。結果ができましたら、リスクマネージャー会議にてご報告させていただきます。

	Lv0	Lv1	Lv2	Lv3a	合計
医療情報課	0	1	0	0	1
HCU	0	1	1	0	2
4階東病棟	0	1	0	0	1
5階東病棟	0	1	1	0	2
5階西病棟	2	5	3	2	12
6階東病棟	0	6	1	1	8
6階西病棟	0	4	3	0	7
7階東病棟	0	4	0	0	4
7階西病棟	0	2	3	0	5
手術室(OP)	2	2	0	0	4
中央外来	1	0	0	0	1
透析室	1	0	1	0	2
4階東西病棟	0	3	1	1	5
理学療法科	0	0	1	0	1
栄養科	0	9	0	0	9
放射線科	2	0	0	0	2
薬剤科	1	0	0	0	1
臨床工学科	0	0	1	0	1
■不明■	0	0	0	0	0
合計	9	39	16	4	68

対象期間:20161101~20161129

一時保存は除く

2016/12/02

医真会八尾総合病院 医療安全管理室

### ● エラー事例の37%は環境が要因 医療安全ニュース3号より

1. 電車の乗降時、日本人はホームで列を作ってきちんと並んで待っていますが、諸外国はわれ先になだれ込んでいる、というような報道は聞いたことがあるかと思います。
2. 日本人は「マナーが良い」と取り上げられる話題ですが、反面、日本のホームは幅が広く電車の本数も多い、という意見もあるそうです。
3. つまり、「マナーが悪い」と指摘されている諸外国だって日本のように環境(ホームが広い・本数が多い)が整えられれば列にきちんと並ぶかもしれない、というわけですね。

### ● 5Sは常識! ですが...

1. 5Sを導入しよう! 最初はある程度の勢いもありますが、時間の経過と共に「忙しい」とのもっともな理由で継続できない! という問題があります。問題の根本原因はスタッフが5Sをプラスアルファの業務として「やらされている感」と捉えてしまうことにありそうです。ではどうやって解決すればいいのでしょうか? それは「ルーチンの中に紛れ込ませ常識としていくこと」だといわれています。
2. 5Sは**大切だと教えていくのではなく、やってあたりまえ!**としつけていくこと。そして、リーダー以上が率先して行うことや、出来ていないスタッフに注意することも必要です。と、医療安全教育「医療安全型5S活動」にて仁科利文氏は著されています。
3. ひとりひとりのスタッフが5Sを常識として考え、継続させるには「5Sは本当に役に立つ」を実感すること、させることが肝要ですね。

### ● 5Sと医療安全

1. 5Sとは
  - ①整理(Seiri) 必要不必要をわけ、いらぬものを捨てる
  - ②整頓(Seiton) 決められた物を決められた場所に置き、いつでも取り出せる状態にしておく
  - ③清掃(Seisou) 常に掃除をして、職場を清潔に保つとともに、細部まで点検する
  - ④清潔(Seiketsu) 3S(上の3つ)を徹底して実行しその状態を維持する
  - ⑤躰:しつけ(Shitsuke) 決められたルール・手順を正しく実行し継続させる
2. 医療安全ニュース  
医療安全ニュースバックナンバーは医真会八尾総合病院 H.P.医療安全管理室にて公開されており、いつでもダウンロード出来ます。「セルフチェック」や「ダブルチェック」について記載された号もありましたが、**5Sが導入されていれば業務を行う上でも、安全管理の上でもやりやすくなる(既に取り入れている部分は、やりやすくなっている)**とは思いませんか?

### ● とにかく5Sをやってみよう!

1. わかりにくいよりわかりやすい(整備された)環境の方が、**ヒューマンエラーが起こりにくい**ことも報告されています(F.H.ホーキンス)。「5Sで部署全体の業務改善」は非常に良いのですがそれなりにたいへんです。問題点の優先順位を割り出し、高いところから順番にやってみようか? という部分導入から始めていくのもひとつの方法です。
2. あらためて**5Sとはスタッフも含めた環境を整え、不具合があればすぐに気づける・わかるようにすること**でもあります。5Sは患者さんの療養環境を整える意味もありますが、働きやすい環境を整えることは最も自分たちのためにもなるのです。